01999-B5125

ATRAI
リヤシートリフト

取扱説明書

ご使用の前によくお読みください

このたびは、ダイハツ アトレーリヤシートリフト車をお買いあげいただきありがとうございます。

- 本書は、アトレーリヤシートリフト独自の装備に関し、正しい取り扱い方法について説明してありますのでご使用の前に必ずお読みください。
- 特に ⚠警告 ⚠注意 アドバイス は、しっかりとお読みください。
- 車両の一般的な取り扱いについては、標準車の「取扱説明書」(別冊)をご覧ください。
- 別付装備品の取り扱いについては、それぞれ添付されている取扱書をご覧ください。
- お車をゆずられる際は、次のオーナーのために必ず本書を車につけておいてください。また、ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

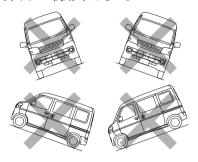
- 本文中に記載されている ⚠警告 ⚠注意 アドバイス の項目は特に重要な事柄です。必ず読んでから操作、あるいは作業にとりかかってください。これらを守らないと思わぬけがや事故につながったり、車を損傷するおそれがあります。本文中に記載されているマークの意味は右記のようになっています。

⚠警告	警告事項を守らないと、生命にかかわるけが、あるいは重大なけがにつながるおそれがあります。
⚠注意	注意事項を守らないと、けがや事故、車両の破損につながるおそれがあります。
アドバイス	お車を操作する上で知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことについて記載しています。

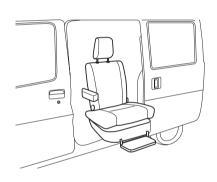
目　次　　ページ

1．車を運転する前に……1～2
2．お子さまを乗せるときは……3
(1)お子さまにもシートベルトを着用させてください……3
(2)チャイルドシートは正しく取り付けてください……3
3．車を運転するにあたって……4
4．各部の名称……5
(1)各部の名称……5
(2)リモコンスイッチ置き場所……5
(3)専用搭載品……5
5．操作方法……6～15
(1)シートリフト装置の使い方……6
(2)車いす固縛方法……10
(3)シートリフト装置非常時収納方法……11
6．定期点検整備……16
(1)車の点検・お手入れ……16
(2)ヒューズの点検・交換……16

１．車を運転する前に

⑴乗降場所は、必ず平坦地を選んでシフトレバーを P の位置にし、駐車ブレーキを確実に掛け、ご使用ください。

⚠注意

・坂道や傾斜地などでの使用は、ご乗降者が転落したりするなど思わぬ事故につながるおそれがあり大変危険です。
・走行する前に、シートが確実にロックされていることをご確認ください。ロックが外れると不意に動いてしまい大変危険です。

⑵シートリフトの接地面周辺に障害物がないことを確認してください。

⚠注意

・障害物があるとシートリフトを損傷させるおそれがあります。
・スライドドアは確実に全開にしてください。また、車両姿勢、車室内外観の変わる改造、装着はしないでください。リフト装置がドアや装備品に当り車両やシートリフト等を損傷させるおそれがあります。
・シートリフトを外に出したままでの走行は絶対にしないでください。事故につながるおそれがあります。
・シートの下や動いている部分に手や物を近づけたり、置いたりしないでください。指や手を挟んでけがをしたり、物が挟まりシートが破損するおそれがあります。

⚠注意

●シートリフトを作動させる前に、次の事項を確認してください。全ての事項が守られていないと、シートリフトが作動しません。
　・駐車ブレーキが掛かっている。
　・スライドドア（左側）が開いている。
　・３点式リヤシートベルト（左側）が解除されている。

(3)介添えの方は、駐車ブレーキをかけた状態で車両周辺の交通には充分ご注意のうえ、操作してください。
(4)操作は８ページからの「操作方法」を必ずお守りください。
(5)この車両は比較的軽度障害の方の移動用に製作されております。手足が動きにくい等、不自由な方のご乗車の際には特に注意してご使用願います。
(6)リフト装置を使用せず車両に乗降されます時は、衣服等がリフト装置に引掛からない様ご注意ください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

(7)収納できる車いすの大きさは折りたたんだ状態で右表のとおりです。

車いす収納スペース（折りたたんだ車いすの寸法） ：長さ1,200㎜、幅330㎜、高さ840㎜ （但し、写真と逆方向で固定する場合　長さ970㎜、幅330㎜、高さ1080㎜）

(8)シートリフトを操作する時、車両装備品等がシートリフトの格納スペースに無い事を確認の上操作してください。車両構造上シートベルトインナーバックルを挟み込み易くなっておりますので、シート収納時は特に注意して操作してください。

⚠注意

- この装置は１人用です。危険ですので１度に２人以上での使用はおやめください。最大昇降能力は100kgです。（リフト装置が故障する原因になります。）

アドバイス

- リモコンスイッチおよびコードを回転部あるいはドア等にはさまないようご注意ください。（断線等の故障の原因となります。）
- エンジンを停止させた状態での連続作動（下降～上昇）は新品バッテリーで目安10回以上作動しないでください。（バッテリーあがりの原因となります。）
- モーターは、3回使用したら２分程度休ませてください。（連続の使用はリフト装置が故障する原因になります。）
- シートの一般的な取扱いについては、標準車の「取扱説明書」（別冊）をご確認ください。

2．お子さまを乗せるときは

⑴お子さまにもシートベルトを着用させてください

・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。急ブレーキ時など体が固定されず大変危険です。

・シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルド シートをご使用ください。
ただし、シートリフト（後席左）にはチャイルドシートを取り付けないでください。

⑵チャイルドシートは正しく取り付けてください

・チャイルドシートの固定方法、および取り扱い方法は、標準車の取扱説明書（別冊）および各チャイルド シートに付属の取扱説明書をお読みください。

・この車にはアトレーワゴンに標準装備のISO FIX対応チャイルドシート固定バーが装着されていません。チャイルドシートを固定するときは、シートベルトを使用して固定してください。

・チャイルドシートを取り付ける際には、以下のことを必ず守ってください。

⚠警告

・シートリフトにチャイルドシートを取り付けないでください。シートリフトやチャイルドシートが破損したり、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

・チャイルドシートは正しく取り付けてください。また、助手席にベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けないでください。SRSエアバッグが膨らんだときの衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。
やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときはSRSエアバッグから体を遠ざけるためにシートを一番後ろの位置にし、必ず前向きに取り付けてください。
なお、取り付け可否については、必ずチャイルドシートの適用条件をご確認ください。

⚠注意

●シートリフトを操作するときは、次のシートにチャイルドシートを取り付けないでください。

・リヤシート右席

・助手席
シートリフトが回転する際に、チャイルドシートのお子さまの手や足などをはさんでけがをしたり、チャイルドシートにシートリフトが当たって損傷したりするおそれがあります。

３．車を運転するにあたって

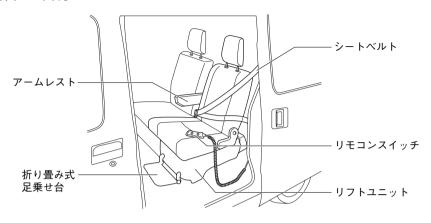
⚠注意

・走行時には、必ず標準装備のシートベルトを着用してください。
・シートを外側に出した状態で走行することは絶対しないでください。
・車両の発進は、シートセットの完了（定位置でシートロックしていること）とスライドドアが完全に閉じていることを確認してから行ってください。
・このシートリフトは１人用です。危険ですので１度に２人以上での乗車はしないでください。
・乗車される方が操作スイッチに当らない様ご使用ください。操作スイッチに当ると、シートが不意に回転・昇降して危険です。

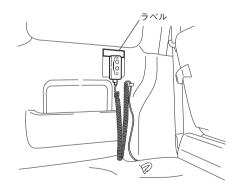
アドバイス

・エンジンを停止させた状態での連続作動（下降〜上昇）は新品バッテリーで目安10回以上しないでください。（バッテリーあがりの原因となります。）
・リフトは３回使用したら２分程度休ませてください。（連続の使用はリフト装置が故障する原因になります。）

４．各部の名称

⑴各部の名称

⑵リモコンスイッチ置き場所

・リモコン使用中は、車両外側ボディーパネルにスイッチ裏側のマグネットで仮置きできます。使用後は所定位置に収納ください。

①リモコンスイッチが磁石式になっていますので所定の位置においてください。

⑶専用搭載品

・ラッシングベルトや専用工具等、この車両の専用品は常にグローブボックスに収納しておいてください。また、専用搭載品をご使用の後はかならずグローブボックスに収納してください。

5．操作方法

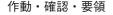
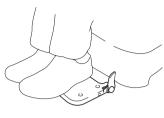
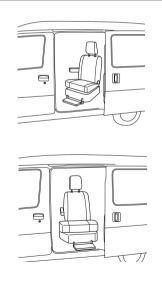
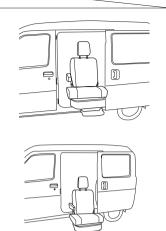
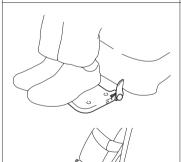
⑴シートリフト装置の使い方

・リフトを操作するときは、必ず本文の手順に従ってください。
・シートリフト装置は介添えの方が操作してください。介添えの方が各操作を確認し、また廻りに注意しながら最後まで確実に行ってください。故障や事故の原因となるおそれがあります。
・このシートを使用する場合、乗車中はかならず両足を折り畳み式足乗せ台の上に乗せた状態での使用としてください。折り畳み式足乗せ台を折りたたんだままでのご使用はおやめください。
・駆動部への異物の噛み込み等により回転、スライド、昇降のいずれかの作動時間が25秒を超えた場合、アラーム音（♪ピッピッピッ）が断続的に鳴り、自動停止が掛かります。リモコンスイッチのボタンから指を離せばアラーム音が停止します。
・車両のスライドドアを全開にしてからリフトの操作を開始してください。

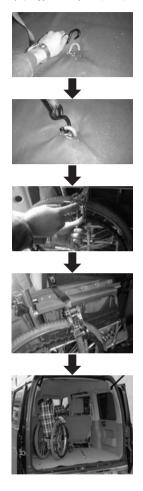
⚠注意

●シートリフトを作動させる前に、次の事項を確認してください。全ての事項が守られていないと、シートリフトが作動しません。
・駐車ブレーキが掛かっている。
・スライドドア（左側）が開いている。
・３点式リヤシートベルト（左側）が解除されている。
●シートリフトを操作する時は、シートの下や動いている部分に手や物を近づけたり、置いたりしないでください。指や手を挟んでけがをしたり、物が挟まりシートが破損するおそれがあります。
●シートリフトを操作するときは、次のシートに人や物を乗せないでください。
・リヤシート右席
・助手席
シートリフトが回転する際に、手や足などをはさんでけがをしたり、シートに物が当たって損傷したりするおそれがあります。

アドバイス

・操作中にリモコンスイッチから指を離すことでリフトを任意の位置で止めることができます。
・モーターの回転数によりリフトを停止させるため、シートを出した状態（格納位置以外の場所）で電源をOFFにしますと、コントロールユニットがリフトの位置を認識出来なくなり、リフトが作動しなくなります。
その場合、スイッチ操作でリフトを一旦格納位置まで格納させてください。
一旦格納させるとリフトが作動出来るようになります。

	操　作	作動・確認・要領
 	①降下 ・折り畳み式足乗せ台に両足をのせる。 ・シートベルトを外します。 ・リモコンスイッチの「DOWN」ボタンを押してください。	・介添えの方はスライドドア開口部に立たないでください。作動中のリフトに接触してけがをするおそれがあります。 ・リモコンスイッチを押し続けるとリフトが少しだけ室内でスライドし、回転、車外へスライド、下降して自動停止します。 ・回転中にリフトが障害物に接触すると、リフトが少し反転し自動停止します。障害物を取り除いてからDOWNボタンを押せば回転します。
	⚠注意 ・リヤシート右席と助手席の乗員や物は降ろしてください。 ・アームレストは倒してご使用ください。 ・フロントの助手席は前へスライドしておき、さらに前へ倒すかリクライニングをいちばん立てた状態にしてください。 ・折り畳み式足乗せ台を操作する時は手や物をはさみ込まない様注意しながら行ってください。また、手を切るおそれがありますので充分注意し、確認しながらゆっくり操作してください。 ・シートリフト回転時にはご乗降者の足がピラー部とリフトキットに接触しないようあらかじめステップ上の足の位置を確認してください。 ・リヤシートリフト車は左右リヤシート共リクライニングを立てた状態でご使用ください。リクライニングした状態では左右のシートが当り回転できません。	

	操　作	作動・確認・要領
	車外へのシートスライド時の注意 ⚠注意 ・車外へのスライド時には、シートリフト乗降者の方の頭や体がスライドドアやルーフにぶつからないように注意してください。スライドドアなどにぶつかると思わぬ事故につながるおそれがあります。 	
	・シートリフトからご降車されましたらリモコンスイッチの「UP」ボタンを押してシートリフトを車内に収納してください。 ・ボタンを押し続けるとリフトが上昇､車内へスライド､回転、室内スライドをして自動停止します。 ・シートが自動停止するまで｢UP｣ボタンを押しつづけてください。	
	②上昇 ・折り畳み式足乗せ台に両足をのせる。 ・リモコンスイッチの｢UP｣を押してください。	・介添えの方はスライドドア開口部に立たないでください。作動中のリフトに接触してケガをするおそれがあります。 ・リモコンスイッチを押し続けるとリフトが上昇、車内へスライド、回転し、少しだけ室内でスライドして自動停止します。 ・回転中にリフトが障害物に接触すると、リフトが少し反転し自動停止します。障害物を取り除いてからUPボタンを押せば回転します。

	操　作	作動・確認・要領
	⚠注意 ・折り畳み式足乗せ台に飛び乗ったり、無理に体重を掛けたりしないでください。 ・シートリフトをご使用中はシート格納スペースや付近に手足や荷物、車両装備品等がない事をご確認ください。確認しなければ、これらのものを損傷したり、けがをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。	
	⚠注意 ・車内へのスライド時には、シートリフト乗降者の方の頭や体がスライドドアやルーフにぶつからないように注意してください。スライドドアなどにぶつかると思わぬ事故につながるおそれがあります。	
	・乗車されましたら折り畳み式足乗せ台から足を降ろし、折り畳み式足乗せ台をおりたたんでください。 ・シートベルトを装着してください。	

⑵車いす固縛方法

・車いすを固縛するためのフック＆ラッシングベルトを装備しておりますので、車いすが動かないよう装着してください。

ラッシングベルトの取り扱い方法

■締めかた

所定の位置に金具をひっかけてください。
調整側ベルト(B)を引張って、たるみを取り、ハンドル(C)を上下に動かし締め込んでください。

■ほどきかた

指でレバー(D)を引きながら、中央にハンドル(C)を持ち上げ、そのまま回転させて、ベース(E)とハンドル(C)がハの字状になるまで広げます。その後、調整側ベルト(A)を引張り、ゆるめてください。

(3)シートリフト装置非常時収納方法

・万一、使用中にリフトが上昇できなくなった場合、以下の手順で手動操作が可能です。
格納後はすみやかに車両を移動し、修理・点検を受けてください。

⚠警告

- **この方法はリフトが故障した場合､車両の移動を行うために手動で上昇操作を行うものです。それ以外の用途では行わないでください。**
- **リフト上に乗降者がいる場合は、降ろしてから操作をしてください。**
- **手動操作には最低でも大人１人が必要です。お年寄りやお子様には操作させないでください。誤った操作により重大な事故につながるおそれがあります。**
- **この方法でリフトを手動格納した後は、修理が完了するまで再使用しないでください。万一、使用すると重大な事故につながるおそれがあります。**
リフトには「使用禁止」の表示をするなどして関係者に十分な注意を促してください。

●工具

グローブボックス内にあります。

・シートリフト専用工具

・⊕ドライバー

シートリフト専用工具

⚠注意

- **工具はグローブボックス内に収納してください。室内などに放置すると、急ブレーキ時などに体に当たるなど、大変危険です。**

●上昇方法

①シートの背もたれを前に倒します。

②リヤカバーのトラスネジ４本を⊕ドライバーで外します。

③リヤカバーを外し、倒したシートの背もたれの上に置きます。

⚠注意

・カーテンがねじれないようにリヤカバーを静かに移動してください。

④チェンジナットの六角ボルト２本を専用工具（14㎜穴使用）で外して、下降限界位置までリフトを下げます。

⑤折り畳み式足乗せ台を開きます。

⑥シート下のリフトユニットカバー(樹脂製)のトラスネジ７本を⊕ドライバーで外します。

⑦折り畳み式足乗せ台を折りたたみます。

⑧矢印の方向にリフトを手で押しながら上昇限界位置までリフトを手で持ち上げます。

⚠警告

- 上昇操作中はリフトを保持する必要があります。操作途中で手を離さないでください。途中で手を離すとリフトが急降下して重大な事故につながるおそれがあります。
- 上昇操作には約20kgの力が必要です。

⚠注意

- リフトの前端部を持って操作してください。リフトの両側や後部を持って操作をすると可動部に手や指をはさんでケガをするおそれがあります。

⑨④で外した六角ボルト２本をリフト背面部の止め穴から組付け、手締めします。

⚠注意

- 六角ボルトは専用工具で締めないでください。リフトが変形するおそれがあります。

●スライド方法

①シート下のリフトユニットカバーをシート前方から取り外します。
②シート下面のモーターブラケットの六角ボルト２本を専用工具(10㎜使用)で緩め、モーターブラケットを車両後方側にいっぱいまでずらします。(約５㎜)

スライドドア側から

モーターブラケット

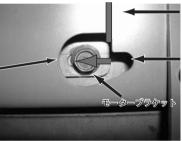
③リフトを車内に全ストローク手で押し込みます。

⚠注意

・シートの前端部を押して操作してください。リフトを持って操作をすると可動部に手や指をはさんでケガをするおそれがあります。

④リフト前端部の2つの丸穴の内、右側の穴から⊕ドライバーを差し込んで奥のモーターブラケットを車両前方側にずらします（元の位置まで戻す）。

アドバイス

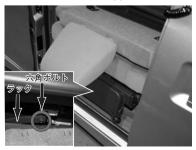
・ドライバーを差し込んだ穴の右側のラインにブラケットの端が重なるまでモーターブラケットをずらしてください。モーターブラケットがラインの手前で止まってしまう場合は、押し込んだリフトのスライドを微量ずつ戻しながらモーターブラケットをラインまでずらしてください。

⚠注意

・六角ボルトを締めた後、リフトのスライドが固定されたことを確認してください。

●回転方法

①リフト下面のラックの六角ボルト3本を専用工具（10㎜使用）で緩めます。

アドバイス

・スライドドア側から1本、車両前側から2本の六角ボルトを緩めることができます。

車両前側から

②車両前側から緩めた六角ボルト２本を外します。
③車両前側からラックを引き出します。

アドバイス
・緩めた１本の六角ボルトを軸にラックを回すようにして引き出してください。

④リフトを90度回転します。

⚠注意
・シートを持って操作してください。リフトを持って操作をすると可動部に手や指をはさんでケガをするおそれがあります。
・操作が完了するとリフトの回転がロックされます。回転完了後、リフトが回らないことを確認してください。

６．定期点検整備

(1)車の点検・お手入れ

・故障を減らして長く大切に使うために定期点検整備をお願いします。
・点検結果を記録する際には、記録簿をコピーしてご使用ください。

点検整備項目		点検時期			交換時期（年）	備考
		日常使用者点検	自家用車 12か月ごと	自家用車 24か月ごと		
リフト部	・回転作動	○		○		スムーズさ
	・スライド作動	○		○		スムーズさ
	・リフト作動	○		○		スムーズさ
	・ローラー部		○	○		※1 スムーズさ
	・ロック状態	○		○		ガタ（異音）がないこと
	・作動油（4リンクリフトアーム部 グリースアップ）			○		※2 ガタ（異音）がないこと
	・リモコンスイッチの作動	○		○		引っかかりがないこと
	・非常用工具の搭載	○		○		

※1 印部は、12か月ごとに防錆潤滑剤を注油してください。
※2 印部グリースアップは異音やリフトのガタ付きが発生した時には随時注油ください。

(2)ヒューズの点検・交換

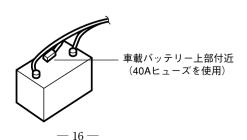
・ヒューズが切れた時は、必ず同容量のヒューズと交換してください。

⚠注意

・ヒューズのかわりに針金、銀紙などを使用しないでください。配線が過熱、焼損し、火災になるおそれがあります。

アドバイス

・ヒューズが切れている場合は、ダイハツサービス工場にて点検のうえ、同じものと交換してください。

・専用ヒューズ組付位置

定期点検整備記録簿

分解整備記録簿

該当なし	/	異常なし	✓	交換	×	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	分解	○	給油	L	省略	P

点検の結果および整備の概要

■シートリフトの点検

《リフト部》

- [ ] ・回転作動
- [ ] ・スライド作動
- [ ] ・リフト作動
- [ ] ・ローラー部
- [ ] ・ロック状態
- [ ] ・作動油
- [ ] ・リモコンスイッチの作動
- [ ] ・非常用工具の搭載

■その他必要となった点検整備の内容および主な交換部品

型　式	
架装物名	シートリフト
車体 No.	
お客様の業種・積載物		架装メーカー名	

依頼者の氏名又は名称及び住所

氏名又は名称

住所

メンテナンスに関するアドバイス

型　式	初年度登録または初年度検査年

自動車登録番号又は車両番号（左記の無い車両にあっては、車台番号）

自動車分解整備事業者の氏名又は名称及び事業場の所在地

氏名又は名称

事業場の所在地

認証又は指定番号	点検の年月日
	年　月　日
点検時の総走行距離	整備を完了した年月日
km	年　月　日

整備主任者の氏名

ご相談、ご意見はご購入いただいた
販売会社にお問い合わせください。

お問い合わせ先は別冊「メンテナンス ノート」の
「ダイハツ サービス網」をご覧ください。

お問い合わせには、あらかじめ下記の事項
について確認のうえ、ご連絡願います。

⑴車名および型式、登録番号
⑵ご購入年月日
⑶走行距離
⑷お客様のご住所、お名前、電話番号

ダイハツ工業株式会社　お客様相談室

フリー コール　0800-500-0182
受付時間　平日　9:00〜19:00
土日祝　9:00〜17:00
〒664-0831　兵庫県伊丹市北伊丹７丁目67番地

弊社におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、ダイハツ工業株式会社ホームページにて掲載しております。（http://www.daihatsu.co.jp/privacy/index.htm）

●印刷＝2012年6月7日　●発行＝2012年6月13日＜非売品＞
●編集＝ダイハツ工業株式会社　サービス部　〒664-0831 兵庫県伊丹市北伊丹７丁目67番地
●発行＝ダイハツ工業株式会社

120613-1

01999-B5125

シートベルトを締めましょう

ダイハツ工業株式会社